

外から/中から見たATC

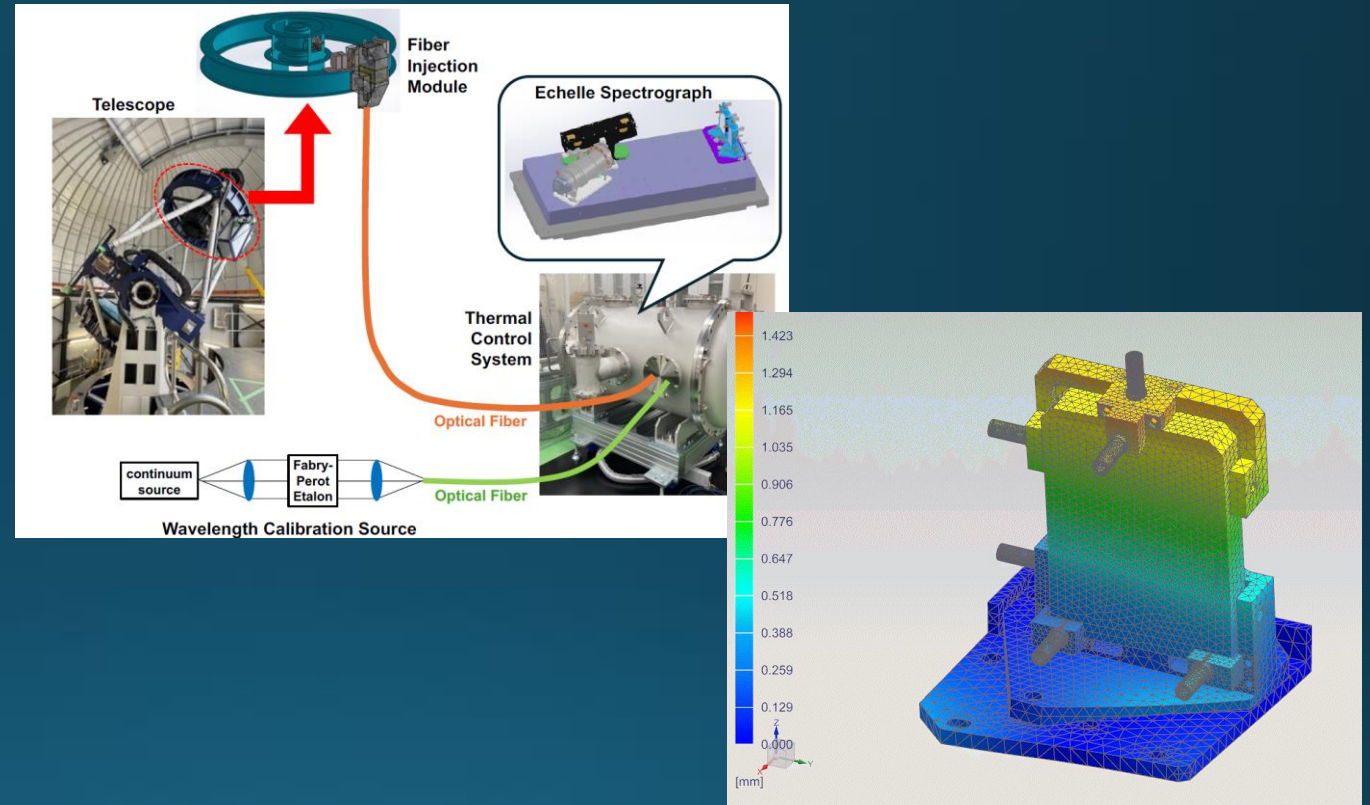
アストロバイオロジーセンター
小谷隆行

外から/中から見たATC？

- 何か思わせぶりなタイトルですが、そんなに大した話はしないです。すいません。
- 午前中の講演で、ATCができること・現状などが説明されていましたが、毎年このような機会があると、ユーザーとしては大変ありがたい
- 今日お話しすること
 - 装置開発のハードルを下げたい
 - 最近私がATCと共同開発したもの、施設利用したもの
 - 国立天文台 10年技術計画ワークショップで話したこと
 - ATCへの要望について

最近のATCとの共同開発・施設利用

- 実験室利用
- 冷却放物面鏡ホルダー設計・製作 (SAND)
- アルマイト塗装アウトガス測定 (SAND)
- 検出器マウント用モリブデン材加工 (SAND)
- 冷却下での回折格子波面測定 (HISPEC/Keck, MODHIS/TMT)
- 光学素子の分光透過反射率測定 (REACH/Subaru)
- 機械部品加工依頼、ボール盤使用



ここに書かれているものだけではなく、色々相談に乗っていただくことも多く、大変感謝しております。

国立天文台 10年技術計画ワークショップ（2018年）で話したこと

- 装置開発をする上での様々なハードルを下げたい
 - 装置開発のノウハウの集積と共有、文書化、情報共有のためのコンタクトパーソンの配置
 - 輸送、輸出入支援、インフラ整備などのロジスティクスの充実
 - （台内・台外両方）中小プロジェクト用のリソース充実、大プロジェクトに多くの時間を取られない人、装置

ATCに相談する、作業依頼するときのこと

- 「まずはATCのメーリングリストに相談を」が、ハードルが高い
 - 実際に担当しそうな方にまず相談してから、正式に依頼
 - 外部の方には難しい
- ATCは、外部プロジェクトに対してどのくらい対応してくれるんだろう？
- ATCは、既に色々なプロジェクトで忙しそう。こんな依頼をしても受けてくれないのではないかな

相談のハードルが低い「技術・開発相談室」のようなものがあると、良いのでは

ATCへの要望

- 台外プロジェクトの共同利用の位置づけを明確にしてほしい
- ATCができること・施設・規則の変更などについて、メールだけでなく、ユーザーに周知するような仕組み
- 中小規模の、台内・台外プロジェクトに対するサポートを充実
- 実験室利用申請の提出を、例えば3年ごとにするのはどうでしょうか、あるいは、長期プラン（3年）と短期プラン（1年）を作るとか。
 - 書く側、読む側両方の負担を軽減
 - 報告は1年ごとにしてもらう
- 検出器の「実装」
 - 真空、冷却、読み出し回路、光学系とのインターフェース設計など